

政令番号65 エピクロロヒドリン

各都道府県での届出事業所からの「排出・移動先別の排出量・移動量」（平成30年度）

(E+nは $\times 10^n$ 、例えばE+3は $\times 1000$ の意味です。)

都道府県 コード	都道府県名	排出量(kg/年)				移動量(kg/年)			排出量・ 移動量 合計
		大気への 排出	水域への 排出	土壌への 排出・ 所内埋立	排出量 合計	下水道への 移動量	廃棄物 搬出	移動量 合計	
1	北海道	1.8E+1			17.7				17.7
2	青森県								
3	岩手県	6.8E+1			68.0				68.0
4	宮城県	6.0E-1			0.6		4.4E+0	4.4	5.0
5	秋田県								
6	山形県								
7	福島県								
8	茨城県	1.6E+4			15,600.0	9.5E+3	1.1E+4	20,522.0	36,122.0
9	栃木県	2.0E-1			0.2		7.2E+0	7.2	7.4
10	群馬県	1.0E-1			0.1				0.1
11	埼玉県	1.0E-1			0.1	2.4E+1	1.7E+3	1,724.0	1,724.1
12	千葉県	6.0E+3			5,951.2		1.7E+3	1,660.0	7,611.2
13	東京都	1.8E+0			1.8		1.8E+3	1,800.0	1,801.8
14	神奈川県	1.5E+1			15.0				15.0
15	新潟県	3.5E+2			349.0		3.2E+2	320.0	669.0
16	富山県	3.2E+1			32.0	1.0E-1	3.4E+4	34,020.1	34,052.1
17	石川県								
18	福井県	7.5E+1	9.5E+0		84.5	2.5E+1	1.2E+3	1,211.4	1,295.9
19	山梨県								
20	長野県								
21	岐阜県	4.3E+1			43.0		1.8E+4	18,000.0	18,043.0
22	静岡県	1.1E+2			111.7		5.5E+3	5,500.0	5,611.7
23	愛知県		2.0E-1		0.2		4.8E+1	48.0	48.2
24	三重県	4.0E+3			4,000.0		2.1E+4	20,991.0	24,991.0
25	滋賀県	1.0E+2			102.7		7.9E+3	7,900.0	8,002.7
26	京都府	1.0E+1			10.2	2.1E+0	1.4E+2	144.1	154.3
27	大阪府	1.6E+3			1,557.1	6.9E+0	5.6E+3	5,624.1	7,181.2
28	兵庫県	4.8E+3	3.9E+2		5,200.2		1.7E+5	170,610.0	175,810.2
29	奈良県	5.1E+0			5.1				5.1
30	和歌山県	4.0E+2			404.0	4.0E+2	1.3E+3	1,652.5	2,056.5
31	鳥取県								
32	島根県								
33	岡山県	1.3E+3			1,255.6				1,255.6
34	広島県								
35	山口県	1.2E+3			1,200.0		1.7E+5	170,000.0	171,200.0
36	徳島県	1.4E+0			1.4		1.0E+4	10,400.0	10,401.4
37	香川県	4.6E+1			46.0		9.6E+3	9,600.0	9,646.0
38	愛媛県	9.8E+2			980.0				980.0
39	高知県								
40	福岡県	8.4E+3			8,400.0		1.6E+3	1,600.0	10,000.0
41	佐賀県								
42	長崎県								
43	熊本県								
44	大分県						4.5E+3	4,500.0	4,500.0
45	宮崎県								
46	鹿児島県								
47	沖縄県								
全	国	4.5E+4	4.0E+2		45,437.4	1.0E+4	4.8E+5	487,838.8	533,276.2

注1) 農薬は使用先別使用量として別表にも示している。